

きずなの郷

第42号
2013 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成25年8月12日

厚生協会の事業開始60周年を 記念した各種事業の実施

社会福祉法人 厚生協会

理事長 鈴木 政輝

社会福祉法人厚生協会は、藤川マキエ先生と田中皎一先生のお二人が昭和28年4月に数名の聴覚障害者と共に新得町内で一軒の民家を借り受け、授産活動を開始したのが原点になります。今年はこの原点から数えて60周年になります。

今年1月に理事2名、評議員2名と各施設長及び全課長からなる60周年記念事業に向けた実行委員会を組織し、60周年に相応しい記念事業について検討を行いました。そこで最大の議論になったのが、田中皎一先生をどのように顕彰するかということです。

当初、田中常務理事はご自身の父である皎一先生を顕彰する事に強く拒否をされていましたが、皎一先生の人柄と功績を抜きに厚生協会の今日を語る事は出来ず、最終的には記念事業実施の趣旨に藤川マキエ先生とともに皎一先生の功績を讃え、レリーフ付き石碑を建設する事で皎一先生の意思を継承していくこととなりました。このレリーフ付き石碑は今年9月中旬に厚生協会敷地内に設置する予定です。

その他に、法人の事業として決定した内容は次の通りです。

1. 藤棚の作成

藤川先生の「藤」と田中皎一先生の「たな」を「棚」に読替え、やすらぎ荘の老朽改築工事の完成時に藤川先生を皎一先生が支えているというイメージで藤棚を作成します。

2. 植林

屈足地区の山林凡そ1haを購入し、記念植林を来年春に行う予定です。今後、法人として節目となる10年毎に記念植林を行います。

3. 記念誌の制作

来年の記念植林後に、50周年記念誌以降の歩みをまとめ発行する予定です。

4. 60周年記念の看板の設置

わかふじ寮の正面玄関の庇に60周年記念の看板を設置しました。

各施設でも利用者の皆様と共に楽しめる記念行事を予定しています。

今後、厚生協会が地域の皆様に支えられながら、福祉を必要とする方々のお役に立てるよう努力を続けていく所存ですので、ご支援、ご協力をお願い致します。

60周年各施設の取り組み

わかふじ寮

- ① 7月13日 60周年記念食事会
- ② 7月16日 60周年記念航空写真

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘

- ① やすらぎ荘と新得やすらぎ荘合同での60周年記念を祝う食事会
- ② 記念写真

屈足わかふじ園

- ① 8月20日 花火大会
- ② 9月3日 食事会

ひまわり荘

- ① 7月22日 全員日帰り旅行、記念撮影
- ② ちぎり絵制作



平成24年度 厚生協会法人本部及び各施設・事業所の事業報告

■ 法 人 本 部

障害者自立支援法に代わる障害者総合支援法が平成25年4月に施行されることになった。

厚生協会としては社会福祉法人新得白生舎との合併協議を進め、平成25年4月1日をもって新得白生舎の事業運営を引き継いだ。

また、冗費の削減に努め、社会福祉法人としての使命を自覚し各施設・事業所が利用者サービスの向上と運営の安全を図りながら以下の事業を実施した。

1. 社会福祉法人新得白生舎との合併協議会の設置。
2. 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘老朽改築の補助申請。
3. 新職員住宅の建設（平成24年11月30日竣工）。
4. 60周年記念事業実行委員会の開催。
5. 地域貢献と社会貢献活動の推進。
6. 理事会の開催（6回）、建設委員会の開催（7回）、監事の監査（6回）、評議員会の開催（5回）、役員研修（4回）、顧問契約（松浦弁護士、富士道公認会計士）、本部各専門部会（管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会）

■ わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、モニタリングを定期的実施し、利用者の状況から支援内容の見直しや確認を行いながら実施した。又QCサークル活動等を通して利用者への質の高い満足を目指して取り組みを行った。

第2わかふじ寮については平成24年4月1日付で新体系に移行し、身体障害者授産施設から障害者支援施設（日中活動は生活介護+夜間支援は施設入所）に変更を行った。

- ① 生活支援部門
 - ・個別支援計画に沿って支援を実施し、変更があった場合などは支援内容の見直しを行いながら進めた。
- ② 就労移行部門
 - ・就労支援ネットワーク会議等に参加し、連携及び地域でのネットワーク作りについて情報収集を行なった。
 - ・就労プログラムに基づき一般就労に向けた支援を行った。
 - ・地域生活移行・地域生活技能への支援を行った。
- ③ 医療部門
 - ・7月胃バリウム、8月に婦人科検診を実施した。
 - ・11月にインフルエンザ予防接種を実施した。流行時期には早めに声かけをし、手洗い、うがいの徹底を行った。
- ④ 食生活部門
 - ・温食・冷食の実施については、温蔵庫を使用した。
- ⑤ 地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動
 - ・毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。
- ⑥ 授産事業
 - ・売上確保や利益向上を目標に事業振興に取り組み、目標金額は達成できたが、昨年よりは2,500万円程大幅に減少した。また、一般就労については厳しい状態であり、一般就労に繋げる事ができなかった。

■ 聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

施設は、老人福祉法及び関係法令及び通知の改正に基づき、利用者の自立支援のためのソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいをもてる健全で安らかな生活ができるように支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

施設利用者の重度化に対応するために、特定施設入居者生活介護を利用し、一人一人に適した施設生活の継続に向けて各関係事業所と連携を取り必要なサービスを提供した。また、利用者へより良い介護を提供するために、介護職員の基礎介護力向上に向けた研修を充実させ職員育成に取り組んだ。

地域では、高齢聴覚障害者がコミュニケーションの問題を含め地域の中で必要なケアを受けづらい現状がみられているため、聴覚障害者専用の養護老人ホームとして高齢聴覚障害者ケアの自己研鑽を重ね、そのケアについて地域に啓蒙する取り組みを継続した。

- ① 生活支援部門
 - ・利用者の状況変化など職員間で、（朝）（夕）ミーティング、支援員ミーティング、ケア検討会議、ケース会議等で確認し合い取り組んだ。
 - ・支援員日誌と夜勤日誌を整備し、また個々の生活の記録等に適宜記録し、取り組んできた。書き方についても第三者が読んで誤解のない内容であるように留意した。
- ② 医療部門
 - ・鹿追診療所でレントゲン、エコー検査、血液検査を定期的に受診して行った。
 - ・常に利用者の全身状態を把握し、異常児は担当医へ報告し、医療機関を受診した。
- ③ 給食部門
 - ・ソフト食は4月から1日1回の提供、5月からは1日2回の提供を実施した。
 - ・選択メニューの他、行事食については利用者の嗜好を取り入れ、メニューに反映させた。

④ 地域社会との交流・広報活動

- ・ 6月30～7月1日に旭川市で全道ろうあ者夏季体育大会が開かれ、フロアカーリング競技に3チーム参加した。また、9月8～9日に石狩市で全道ろうあ者大会が開かれ、利用者、職員合わせて10名が参加した。
- ・ 体験実習として新得高校から6月21日に1名、9月15日に7名受け入れた。10月16日には幼稚園との交流会を行った。12月にも幼稚園との交流会の予定があったが感染症のため、中止となった。

■ 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘・短期入所生活介護事業所新得やすらぎ荘

介護保険の報酬改定により、施設関係はマイナス改定となり緊縮財政に努める年として取り組んできた。利用定員の欠員期間の短縮については、前年よりは上まわったが引き続き早期の入所に努めていく。年間通しての節電対策で職員にさらなる節約の意識が高まった。

利用者サービスについては、歯科医師、歯科衛生士との連携で口腔ケアの向上に努めたが日中のオムツ外しは、十分な取り組みができなかった。介護職員の基礎介護力向上に向けた研修は特に新職員を中心に取り組んだ。

短期入所については、ベッドの空き状況を確認しながら、緊急入所の受け入れを実施し自宅生活支援に努めてきた。

- ① 歯科医師と連携した口腔ケアに努めた。
- ② 嚥下困難者に対してソフト食を提供した。
- ③ 地震等の自然災害を想定し避難訓練を行った。

■ 訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

① 訪問介護サービス

利用者の望む在宅生活が出来るようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるよう努力してきた。また、自立支援・介護予防の視点に立ち、日々の介護サービスを行うことが出来た。今年度は特に利用者本位の視点を重視し、認知症の方への対応研修にも参加し、各ヘルパーのスキルアップを行った。

② 障害福祉サービス

自立支援の視点に立ち、利用者本位とその意味を研修等で再度学ぶ機会を増やした。在宅における障害者だけではなく、その家族への気配りも行うように努めた。

■ 居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

介護保険制度は平成12年のスタート以来、在宅サービスを中心に、老後の安心を支える仕組みとして定着してきた。居宅介護支援でも専門的で質の高い介護サービスの提供や、医療と介護の連携を期待されている。

当事業所においても介護保険法令の趣旨に従い、利用者と家族の意向に沿って、専門職として総合的なケアマネジメントを基に介護サービス計画の作成を行い、各サービス事業所や行政等他職種の連携、調整を図ることで、適切な介護サービスや福祉サービスの利用ができるよう努めた。

また、制度情報の把握やケアマネジャーの資質向上のため研鑽し、利用者や家族に対し、総合的支援を続けてきた。

■ 日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限りその居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴および食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練等のサービスを提供した。また、利用者ニーズを引き出し、選択できるサービスを充実させた。

利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

やすらぎ荘老朽改築工事に伴い、短時間デイサービスの提供場所を確保した。

- ① 短時間デイサービスの移転先を決めサービス内容を見直す事ができた。
- ② 利用者のニーズに合わせた機能訓練の実施と選択が可能なサービスの内容充実を図った。
- ③ サービス内容について自己点検を実施し、点検結果を基にサービス内容充実をはかった。

■ 清水デイサービスセンター やすらぎ荘

慣れ親しんだ地域で、生きがいをもって生活していただけるよう、在宅での日常生活支援を重視し、転倒予防、認知症や廃用性症候群等リハビリテーションを目的とし、理学療法士、看護職員、介護職員、生活相談員が共同して、個人の状態、希望に添ったサービス提供ができるよう、リハビリの計画・実施・評価を行った。また、施設内研修、外部研修に参加し職員の資質向上に努めた。

■ 共同生活介護・共同生活援助事業所 さくら

利用者への支援の中心となる個別支援については、個別支援計画に基づき、地域生活が安定してできる様に、地域で生活を送る上でのルールを基本とし、生活能力の向上に向けた支援を行った。又地域との関係も考慮しながらお互いに協力することができる様な支援も行った。

食生活については家庭的で且つ偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好について日々の献立に反映できるように対応した。

- ① 地域生活
 - ・ 個別支援計画に沿って支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。
- ② 食生活
 - ・ 入所施設での献立を参考にしながら、予算の範囲内で家庭的な食事を提供した。

■ 屈足わかふじ園

障害者自立支援法の改正に伴い、施設利用する際に、サービス等利用計画の作成が必要となり、自治体の福祉担当者との様に進めるかの連絡調整等を行った。

利用者に対しては個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

生活面では介護スタッフの入れ替えがあり、余暇活動や外出行事の活動機会は前年度に比べ減少した。医療面では感染症対策委員会を中心に予防対策を厳重に行った事で、利用者のインフルエンザとノロウィルスの発症はなかった。環境整備では、災害時備蓄品として暖房器具・非常食・飲料水・日常生活用品等を整備した。

① 介護部門

- ・業務改善委員会、介護員ミーティングを中心に介護に関するマニュアルの見直しを行うと共に、各種研修会に参加した職員から職員会議などで伝達研修を行い介護技術の向上に努めた。
- ・事故防止委員会を中心に職員間の連携を密にして、事故防止に努めたが、ヒヤリハット報告数は前年度と比較し、新人職員の確認不足によるヒヤリハット報告の増加や、特定の利用者による車椅子からの転倒などが増加したが、大きな事故につながらない様、統一した意識をもって介護を行った。

② 医療部門

- ・利用者の心身の状態把握に努め、異常時には速やかに対処し、毎週回診時には適切な情報提供を行った。
- ・感染症対策委員会を中心に予防対策として、面会・外出・行事等を自粛し、厳重に取り組んだ事で、利用者のインフルエンザとノロウィルスの発症はなかった。

③ 給食部門

- ・嗜好調査については随時行った。また給食運営会議に利用者の代表3名に交代で出席して頂き、給食の提供について聞き取りを行い確認した。
- ・行事の時にはテーブルの配置を換えたり、飾り付けをしたり、普段と違う雰囲気作りが出来るように工夫し、定期的にジンギスカンや鍋などテーブルを囲み、料理しながら食べられる行事を取り入れた。
- ・昼食と夕食時に副食を保温庫で保管し、食事直前に配膳を行い温食の提供を行った。

④ 生活支援部門

- ・個々の個別支援計画の策定と6か月ごとの支援計画のモニタリングを実施する事で支援内容の見直しなどで、利用者のニーズに沿った生活支援の実現に向けたサービスの提供ができた。
- ・利用者からの困り事や相談があった際には、随時受け入れ、個別に相談を行うなどの対応を行った。

⑤ 生産活動又は創作的活動

- ・日中活動として、利用者の障害特性をふまえた生産活動又は創作的活動の機会を提供し、参加利用者は作業意欲があり、継続して活動に参加していた。

⑥ 研修関係

- ・法人・施設内外の研修会には可能な限り積極的に参加し、研修後は必要に応じて、報告書を提出し、職員会議では研修報告を行い、参加していない職員にも伝達研修を行った。

■ 養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法及び関係法令を遵守し、利用者の主体性と自立支援に配慮した支援と状態にあわせた介護サービスが利用できるよう支援に努めた。また、「安心と信頼」を今以上に深められるよう利用者へサービス内容の説明と同意を徹底するとともに、利用者が心地よく過ごせるよう住環境の清潔保持に努めた。虐待、事故、感染症の防止、認知症の対応等より良い介護サービスの提供を行い、利用者の立場に立った介護サービス、支援を行うよう努めた。

① 介護部門

- ・毎月訪問特定会議を行い利用者個々への対応を見直した。随時ケース会議を行い、特定への移行を検討し2名特定へ移行となった。
- ・居室内や食堂の席、入浴形態など本人の状態に合わせた対応が出来るよう、随時検討を行い、対応した。
- ・毎月事故防止委員会、抑制防止委員会、随時接遇委員会を開催し改善策を検討し施設運営に努めた。
- ・食事を一緒に食べたいという家族から希望があった時は家族室を提供した。

② 看護部門

- ・糖尿病、高血圧症、腎機能障害、肝機能障害の病名が確定されている利用者に対し病状や食生活についての説明を行った。
- ・看護経過連絡表に利用者の状況を記入し継続して各部署に伝えた。

③ 給食部門

- ・誕生者の希望献立を取り入れ、誕生月に提供出来るようにした。
- ・地元からの仕入れを優先し、季節感が出るように努めた。

④ 高齢者短期入所事業

- ・各関係機関との連携を密に行い、サービス利用期間の調整を行った。年間14名利用があった。

■ 訪問介護事業所 ひまわり荘

特定施設利用者へのサービスを中心に対応し、利用者の生活環境、能力に応じ、特定施設において作成したサービス計画書を基に訪問介護サービス計画書を作成し、利用者の生活能力の維持、向上につながるサービス提供に努めた。また、特定会議、サービス担当者会議に参加し、サービス提供時の状況を伝えサービス内容の見直しや検討を行った。

平成24年度決算報告

平成25年 3 月31日

財 産 目 録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		865,324,903
固 定 資 産		4,528,433,955
資 産 合 計		5,393,758,858
負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		142,357,887
固 定 負 債		296,441,577
負 債 合 計		438,799,464
差 引 正 味 資 産		4,954,959,394

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	865,324,903	流動負債	142,357,887
固定資産	4,528,433,955	固定負債	296,441,577
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	2,693,903,792
		その他の積立金	651,301,343
		次期繰越活動収支差額	1,595,254,259
資産合計	5,393,758,858	負債純資産合計	5,393,758,858

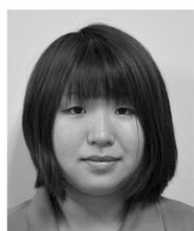
事 業 活 動 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険収入	468,148,735
利用料収入	82,456,164
措置費収入	267,305,673
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	636,582,044
補助事業等収入	3,601,455
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	24,258,420
雑収入	10,506,327
借入金元金償還補助金収入	18,000,000
借入金利息補助金収入	1,658,318
経理区分間繰入金収入	149,847,167
受取利息配当金収入	268,027
授産事業収入	162,990,983
施設整備等補助金収入	44,097,000
国庫補助金等特別積立金取崩額	81,640,998
収入合計	1,951,361,311
人件費支出	821,498,365
事務費支出	209,739,131
事業費支出	255,303,964
借入金利息支出	3,113,222
経理区分間繰入金支出	149,847,167
授産事業支出	162,737,879
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	43,897,000
引当金繰入	15,498,560
減価償却費	115,771,264
固定資産処分損	0
支出合計	1,777,406,552
当期活動収支差額	173,954,759
前期繰越活動収支差額	1,517,199,500
その他の積立金取崩額	15,000,000
その他の積立金積立額	110,900,000
次期繰越活動収支差額	1,595,254,259

資 金 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険収入	468,148,735
利用料収入	82,456,164
措置費収入	267,305,673
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	636,582,044
補助事業等収入	3,601,455
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	24,258,420
雑収入	10,506,327
借入金元金償還補助金収入	18,000,000
借入金利息補助金収入	1,658,318
経理区分間繰入金収入	149,847,167
受取利息配当金収入	268,027
授産事業収入	162,990,983
施設整備等補助金収入	44,097,000
借入金収入	35,000,000
積立預金取崩収入	15,000,000
収入合計	1,919,720,313
人件費支出	821,498,365
事務費支出	225,237,691
事業費支出	255,303,964
借入金利息支出	3,113,222
経理区分間繰入金支出	149,847,167
授産事業支出	157,715,557
流動資産評価減による資金減少額	107,573
積立預金積立支出	110,900,000
借入金元金償還金支出	27,116,000
固定資産取得支出	95,892,300
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	1,846,731,839
当期資金収支差額	72,988,474
前期末支払資金残高	649,978,542
当期末支払資金残高	722,967,016

新職員紹介(4月1日付)



屈足わかふじ園
介護職員
山根 舞香



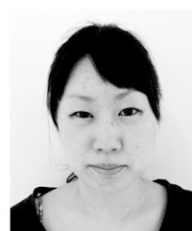
屈足わかふじ園
介護職員
本間 美香



新得やすらぎ荘
介護職員
小野寺千子



新得やすらぎ荘
介護職員
貫洞 楓



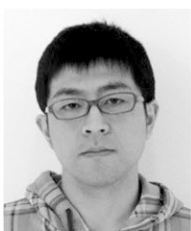
新得やすらぎ荘
介護職員
畠中 美幸



新得やすらぎ荘
介護職員
阿部由香里



新得やすらぎ荘
介護職員
鈴木由希江



新得やすらぎ荘
介護職員
瓜田 晋也



やすらぎ荘
支援員
八鍬明日香



ひまわり荘
介護職員
日下 瞳



ひまわり荘
支援員
児島 史子



屈足デイサービスセンター開設

～無料体験見学を随時受け付けています!!～

平成25年6月3日、「屈足デイサービスセンターやすらぎ荘」が開設しました。

一般住宅を使用し自宅と近い環境で入浴や食事、レクリエーション等をして頂くことができるデイサービスです。定員10名と少人数のデイサービスなので、お一人お一人の希望に沿ったサービス提供が可能です。また、マッサージチェアやフットマッサージ、物理療法の機器（ホットパック）を設置しています。

営業日は月曜日～金曜日、ご利用時間は午前9時30分～午後3時30分です。祝祭日も営業しています。定休日は土曜日・日曜日、12月31日～1月3日となっています。



問い合わせ先

屈足デイサービスセンターやすらぎ荘

住 所 屈足柏町1丁目51番地

電話番号 0156-65-3900

担当者 管理者兼生活相談員 森 理美

全道ろうあ者大会全体会議

6月25日に全道ろうあ者大会についての全体会議が、わかふじ寮の地域交流ホームにて行われました。

十勝聴覚障害者協会会長の川口さんを筆頭に各施設の実行委員、十勝聴覚障害者協会会員、わかふじ寮利用者代表が一堂に会した大きな会議となり、申込み状況や準備の確認と今後の動きについて細かい打ち合わせが行われました。

8月31日の大会に向けて、準備も佳境に入っています。無事に成功させるため、厚生協会を挙げて精一杯の支援をしていきたいと思います。



▲実行委員大集合です



▲真剣な眼差しで望みます

施設研修旅行

～北と南で大満足!～

6月に恒例の施設研修旅行へ行ってきました。例年3班に分けて行われていましたが、今年は利用者の旅行先希望が偏ってしまったため、急遽2班編成での旅行となりました。1班目は利用者46名、職員14名、ご家族3名の計63名で6月12日～14日にかけて鹿児島・宮崎方面へ。続いて2班目は利用者15名、職員9名、ご家族4名の計28名で6月27日～28日にかけて洞爺湖方面へ行ってきました。

1班目は全日程を通して晴天に恵まれました。鹿児島では偶然にも桜島が噴火し、長崎鼻ではなんと年に数回しか見ることの出来ない屋久島も見ることが出来ました。天気と運に恵まれ、利用者の皆さんも大満足の旅行になりました。

2班目はあいにくの曇り空に見舞われた旅行となりましたが、マリンパークニクスのイルカ・アシカショーの見学や、浜田果樹園さんでのイチゴ狩り、洞爺湖では遊覧船で湖を周遊しました。夕食はおいしい魚介類に舌鼓を打ち、地元北海道を満喫した旅となりました。



▲おいしい料理で乾杯!



▲桜島をバックに!



▲自然と背筋が伸びます☆



▲お腹一杯いただきました～♪



▲最高の一粒☆



▲大きな水槽にびっくり!

屈足わかふじ園

ばんえい競馬見学

～パワフルな馬にエキサイト!～

5月に利用者5名と職員5名で帯広競馬場へ行ってきました。

馬が鉄そりを引いて、途中に2ヶ所の障害坂がある全長200mの直線コースで競うレースを見学し、参加した利用者全員が目の前で繰り広げられる熱戦に「○番行けー!!」など興奮してレースの行方を追っていました。

普通の競馬とは違い、スピードだけではなく、馬の引っ張る力と持久力・騎手のテクニックも必要とされるパワフルな競馬に、利用者も職員も魅了されました。

利用者の1人が見事予想が的中し、参加したメンバーの中で唯一の一人勝ちでしたが、参加した全員が馬の迫力を楽しんでいました。



▲誰が買った(勝った)でしょうか?



▲行け行けー!!

屈束手話の会慰問

～手話の歌で交流しました～

5月18日に屈束手話の会のメンバー11名が来園され、手話の歌を披露して頂きました。

施設が開設した平成12年から毎年お越し頂いており、今回は「花は咲く」「涙そうそう」「上を向いて歩こう」「夕焼け子焼け」「ふるさと」の全5曲を披露して頂きました。

「ふるさと」の曲ではメンバー全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら交流しました。

利用者も職員も、メンバーの手話を見様見真似で、一緒に手話をしながら歌い、とても楽しい一時を過ごしました。



▲毎年ありがとうございます。



▲「ふるさと」と一緒に手話で交流しました。

交通安全教室

～ルールを守って安全第一～

4月26日（金）に施設内で「交通安全教室」を行いました。

利用者の皆さんは日常や行事等で外出機会が多いので、1年に1回「交通マナー」や「交通の危険」について学んで頂いています。

新得警察署の協力を頂いて高齢者向けによる交通安全についてのビデオテープを借りてビデオ鑑賞を行いました。自分達の生命に関わる事なので真剣な眼差しで映像を見ながら取り組む様子が伺えました。

毎年取り組んでいる事ですが、交通ルールを守る事で人の「命」が守られるという事の大切さを改めて実感する事ができました。

「つい」「うっかり」等という事は誰にでも起こりうる状態ですが、学習会を無駄にしない様に職員一同も交通ルールをしっかり守っていかうと思います。



▲ストップ・ザ・事故で豊かな生活を♪

帯広買い物外出

～帯広イトーヨーカドー、音更スーパーセンターOK～

5月13日から5班に分け、買い物外出へ出掛けてきました。皆さん目当ての物を探して広い店内を歩いて回り、お昼はレストランでちょっと贅沢にランチを食べ、午後からは少し疲れの見える方もいましたがそれぞれ買い物を楽しまれていました。

以前から利用者の皆さんに人気なのは、買い物を終えた後に買う「おやき」です。作りたての温かいおやきをその場で食べる方もいれば、沢山購入し施設で食べている方もいたり、未だおやき人気は健在でした。



▲皆で記念にハイチーズ 買い物楽しかったね～♪

開所記念夕食会

～いつもお手伝いを頂いている方に感謝をこめて～

4月1日はやすらぎ荘、新得やすらぎ荘が開所した日であり、それをお祝いし「開所記念夕食会」が開かれました。

いつも食堂の手伝いやタオルたたみ、エプロン干し等のお手伝いを沢山して頂いている特養、養護の利用者の方々に職員が作った「ありがとうカード」を施設長からお渡しして、感謝の気持ちを表しました。

又、食事にはごちそうがたくさん並び、利用者の方々・職員みなでやすらぎ荘、新得やすらぎ荘の始まりの日をお祝いしました。



▲夕食会のメニューです！



▲いつも、ありがとうございます



▲皆さんで、かんぱーい☆

中野よし江さん100歳祝い

～記念すべき100歳をお祝いしました～

この度、新得やすらぎ荘を利用されている中野よし江さんが100歳を迎えられました。昨年100歳を迎えた平下さんに続き、新得やすらぎ荘の利用者さんの中では2番目に長寿です。

5月30日には長寿の祝い、6月15日のお誕生日には皆で歌を歌ってお祝いし、6月30日誕生会では、100歳の長寿のお祝いのために来荘されたボランティアの方が獅子舞と踊りを披露して頂きました。その後、くす玉を割りお祝いの時はとてもすてきな笑顔で喜んでくれました。

これからもお元気に、中野さんのすてきな笑顔をたくさん見せてほしいと思います。



▲誕生会でくす玉を割ってお祝いしました。



▲獅子舞と一緒に、はい、チーズ



▲誕生日をみんなで、お祝いしました

家族との集い ～触れ合いを楽しむ～

平成25年3月23日に地域交流ホームなでしこで「家族との集い」を行いました。

今年のイベントは毎月ボランティアに来て頂いている新得歌謡愛唱会の方と一緒に「北国の春」「星影のワルツ」を歌い、劇的ビフォーアフターではご家族の方に参加してもらい、職員の昔と今の写真を見比べ職員を当てるゲームを行いました。また利用者と職員による寸劇「みにくいシンデレラ」は、とても盛り上がりしました。

食事の前には毎日夕食前にしている嚥下体操を行い、美味しく食事をしながらスライドショーを見て1年の行事を振り返りました。

家族との集い終了後、利用者から「もう終わるか、早いな」と、残り惜しそうにしていました。



▲愛唱会の方と一緒に歌いました♪



▲森のくまさん、幸せなら手をたたこうを演奏しました。



▲食事前の嚥下体操は忘れずに

日帰りサービスセンターやすらぎ荘

日帰りサービスセンターやすらぎ荘 浦 長衛さん ～春の叙勲 瑞宝単光章受章!!おめでとうございます～

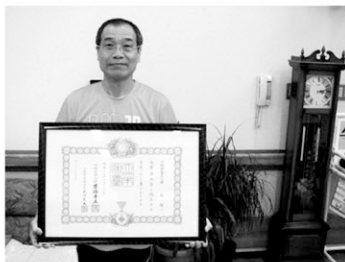
平成25年春の叙勲で、我が法人の日帰りサービスセンターで勤務している、看護師の浦長衛氏が受賞する事になりました。

叙勲は国や公共への功績を上げた方が、国から叙勲を授かる栄典「表彰制度」の一つであり、その中で瑞宝章は、国及び地方公共団体の公務に長年にわたり従事し、功労を積み重ね成績を上げた人を表彰する場合に授与される叙勲です。

浦氏は「普通に勤務してきた事が認められとても嬉しいです。皆様の多年にわたるご指導、ご支援の賜りを感謝しています」

「今後はこの榮譽に恥じることのない様精進します」と語っていました。

平成25年5月15日、お祝いの花束等を贈り皆で喜び合いました。



春の交通安全教室

～交通ルールは守りましょう～

4月17日に新得町交通安全推進協議会の加藤推進員、村瀬指導員、北村指導員が来荘され、横断歩道の模型を使用し渡り方や、実際にどのような所に危険があるのかを教えて頂きました。

最後に加藤推進員が作成した「花は咲く」の音楽に合わせた手話コーラス会の活動映像、新得町の街並み風景の映像を見せて頂きました。終了後には「勉強になったなあ」「車には気を付けないとね!」等と皆さん話していました。▲右見て左見て、安全に渡りましょう!



慰問ありがとうございました

～ミュージックさくら～

5月19日にミュージックさくらのメンバー7名が来荘し計10曲の歌を披露してもらいました。利用者の皆さんは知っている曲がかかると歌を口ずさんだり、手拍子をしたりと楽しんでいました。また北山れいさんの素敵な歌声に皆さん聴き入っていました。



▲ミュージックさくらの皆さんありがとうございました

～屈足フォークダンスの会～

6月23日、「屈足フォークダンスの会」のメンバー12名が来荘されました。手作りの衣装を着た皆さんのダンスはとても軽やかでした。全7曲を踊られた後に利用者と職員も混じり「北海盆踊り」を踊りました。盆踊りは利用者の皆さんに大人気で「もう1回踊りたい!!」と言う利用者の皆さんのアンコールでもう1度踊りました。



▲踊りで交流



▲屈足フォークダンスの会の皆さんありがとうございました。

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成25年3月から
平成25年6月まで(敬称略)

【本
新得町 部】
町田 純一
高橋 末治
横倉 良夫
清水 輝男
中野 慶晴
福田 實・幸子
田仲 昭
菅原 哲二
太田 幸子
牧野 武司
島津 千鶴子
齊藤 秀三
河原 純一
今田 美明
橋本 弘
渡辺 律子

【わかふじ寮】
新得町 川崎 勉
植田 吉枝
千葉 玄昭
湯浅 亮
帯広市 吉田 邦子
中家 幸子
札幌市 境 武子
島川 和成
坂口 和成
佐々木芳子
エフエム通商
工藤 末吉

札幌市 佐々木芳子
本別町 今野アサ子
吉田 秀幸
後藤 幸雄
藤沢 英明
千葉 勲
貴俵 サワ子
木村 ヤエ子
田中 清治
岸 良太郎
東京都 佐藤 陽一
岩見沢市 大山 敏宏
標茶町 須田 有俊
深川市 日下 正光
札幌市 金子 治郎
北見市 山口 秀雄

【やすらぎ荘】
新得町 手話コーラスの会
西嶋多美子
みよし農園
札幌市 河原 純一
森田忠三・正子
芽室町 谷保 義明
清里町 太田 幸子

【新得やすらぎ荘】
新得町 児玉美智子
佐東 静子
J A十勝女性協議会
前塚 節子

新得町 佐野 幸子
町田 純一
成田 末治
高橋 輝男
清水 敏次
横倉 良夫
文屋 信枝
中野 慶晴
安田美津子
札幌市 佐藤 幸子
札幌市 坂根 豊
帯広市 後藤日出也
北見市 笠原しおり
江別市 井上 孝
美瑛町 堀川 静香
根室市 齊藤 秀三
宮城県仙台市 石川 敏光

【日帰りサービスセンターやすらぎ荘】
新得町 水本 敏正
古川さかゑ

【屈足わかふじ園】
新得町 金田 和子
太田まち子
玉川 悦子
理容のサン
三浦 照幸
ナカヤ理容所
渡辺千代子

新得町 佐藤 茂光
朝日の1婦人会
高橋 テル
音更町 櫻井 夢重

【ひまわり荘】
新得町 宮野 豊成
高橋 武子
安久津幸雄
倉科 弘子
ミュージックさくら
屈足フォークダンスの会
音更町 山川 茂子
清水町 恩田ひろみ
山口 哲
山口 敏子
芽室町 斎藤 久光
土幌町 松井 栄子
帯広市 三輪ミツ子
標茶町 広川エイ子
釧路市 菅原 哲二
北見市 中村みどり
札幌市 板垣 政司
赤松 正憲
武田 六郎
高松 文雄
武田 則子
徳家 隆春

斜里町 愛知県

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

ブログ「わかふじ寮歳時記」

<http://blog.campan.info/wakafuji>

ブログ「屈足わかふじ園日記」

<http://blog.campan.info/wakafujienn/>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp(わかふじ寮)

yasuragi@rainbow.ne.jp(やすらぎ荘)

wakafuji@rose.ocn.ne.jp(屈足わかふじ園)

himawari@bb.rainbow.ne.jp(ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

暑い日が続く、体調を崩しやすい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

わかふじ寮の授産事業が開始して今年で60年という節目の年を迎えました。各施設60周年記念事業として利用者と共に、どのような楽しい思い出作りをしようか日々取り組んでいます。

また、今年は新得町で全道ろうあ者大会が開催されます。現在、細かい打ち合わせを行い、全道各地からの参加者を迎える準備を行っています。

大きな節目を迎えた今年度、新たな気持ちで利用者の生活がより豊になるよう努力していきます。

わかふじ寮

8月 ふれあい盆踊り

9月 合同運動会

10月 文化祭

やすらぎ荘

8月 ふれあい盆踊り

9月 合同運動会・新得神社祭・秋の味覚祭

10月 旅行(1泊2日)・お料理日・施設内ゲーム大会

11月 町民芸能芸術祭・帯広外出・鍋の会・長寿の祝

高齢者芸能発表会

新得やすらぎ荘

8月 七夕・花火大会・納涼映画会・誕生会

9月 合同運動会・買い物外出・秋の味覚祭・誕生会

10月 ゲーム大会・誕生会

11月 おやつの日・鍋の会・長寿の祝・誕生会

屈足わかふじ園

8月 きずなの郷まつり・夏の夕べ・花火大会

9月 屈足保育園交流会

10月 味覚祭

11月 十勝ウィンドシンフォニー演奏会

ひまわり荘

8月 花火大会・避難訓練・盆法要

日帰り旅行・一泊旅行

9月 秋のピクニック・敬老会・合同運動会

秋の交通安全教室・秋彼岸法要(法話)

10月 移転記念食事会・防災訓練・買い物外出

11月 一泊旅行・保育所交流会

各施設の行事予定(8月～11月)